

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	さわやか愛の家むなかた館		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 17日 ～ 2025年 1月 10日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17 (回答者数)	18
○従業者評価実施期間	2025年 1月 20日 ～ 2025年 2月 7日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	各職種の連携ができています。	・PT・OT・看護師・児童指導員等の専門職が配置されており、児童一人一人に対しての支援を充実させている。	・支援の見える化をもっとできればと考える。
2	保護者からの信頼が厚い。	・スタッフ一人一人が保護者とコミュニケーションをしっかりとれており、頼っていただける環境作りができています。 ・支援のニーズ言いやすい雰囲気がつくれており、よりよい支援を提供していける環境になっている。	・家族交流できる場の提供を考えている。
3	自己選択を尊重し自由に過ごせる。	・児童がやりたい事を尊重し、自由に過ごしての中で評価し必要な事を支援していく環境作りを行っている。 ・自己選択・自己表出、たくさんの経験ができる環境を提供している。	・コミュニケーションツールや遊べる物を増やしていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援の見える化をもっとしていく。	送迎時の引継ぎ時に、細かく説明等しているが、実際に見ているわけではないため、どのくらい伝わっているのかわからない。	写真・動画等を用いたり、参観日のような日を作ったりできればと考えます。
2	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと交流する機会が少ない。	地域の公園や長期休み等を利用して図書館、商業施設に外出しているが、外出先での活動が目的となっているため、交流する機会が少ない。	地域で開催されるイベントに積極的に参加することで交流する機会を増やしていく。 また、事業所でも参加児童が皆楽しめるようなイベントを企画していく。
3	事業所で非常災害訓練や避難訓練等を行っているが情報が周知されていないことがある。	訓練等を行ったことをブログ等にアップしているが投稿したことをご家族様にお知らせできていなかった。	必要な訓練等を行った場合はブログだけでなく、ご家族様全員に周知頂けるようお知らせをしていく。 インスタグラム等も始めているので、普及率の高いSNSを積極的にアピールし、活用していく。